

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」前期基本計画
チャレンジ目標及びまちづくりの指標
(重要業績評価指數・KPI) 実績一覧

チャレンジ目標実績の推移

	基本方策	チャレンジ目標	目標値 「守る」はR12（2030）年度 その他5つはR11（2029）年度	計画策定時 実績値	実績値		
					R4（2022） 年度	R5（2023） 年度	R6（2024） 年度
1	ともに創る	新規雇用創出	2,000人	268人 (R3年度)	380人	852人	1,254人
2	ともに守る	CO2の排出量削減 (平成25年度比)	46%	10.1% (R1年度実績値)	11.6% (R2年度実績値)	15.6% (R3年度実績値)	7.8% (R4年度実績値)
3	ともに結ぶ	交流人口 (観光入込客数で数値化)	1億人	1,162万人 (H30年：コロナ禍前)	1,050万人	2,259万人	3,431万人
4	ともに支える	合計特殊出生率	2.1	1.72 (R3年)	1.62	1.51	1.52
		健康寿命延伸 (65歳平均自立期間：65歳以降、日常的に介護を必要としないで自立し生活できる期間)	男性18.54年 (1年延伸)	男性17.54年 (H23～27の平均値)	男性18.41年 (0.87年延伸)	男性18.43年 (0.89年延伸)	男性18.26年 (0.72年延伸)
			女性22.00年 (1年延伸)	女性21.00年 (H23～27の平均値)	女性21.53年 (0.53年延伸)	女性21.75年 (0.75年延伸)	女性21.70年 (0.70年延伸)
5	ともに育む	高校生が「出雲に愛着や、魅力・誇りを感じる」と答えた割合	85%	81.1% (R3年度)	78.8%	80.9%	81.0%
6	ともに楽しむ	生涯学習等施設利用者数	2,200万人	268万人 (H30年度：コロナ禍前)	233万人	485万人	771万人

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括		
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末						
01 海・山・大地の恵みを生かす	1 新しい農業のカタチへの挑戦	農村環境を次世代へつなぐ 「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ		国スマート農業技術の開発・実証プロジェクトで効果のあったスマート農業機械（自動操舵システム、水田センサー、農業用ローン、環境モニタリングと自動換気システム）の導入経営体数（累計）	農業振興課	経営体	33	39	45				A	スマート農業技術の効果等のPRを行い、財政支援を行うことでスマート農業機器を導入する経営体が増加した。今後も新出雲チャレンジ事業等の各種補助事業を活用し、スマート農業機械の導入等を支援し、普及を図る。		
				多面的機能支払交付金の取組面積（累計）			27	36	50	63			B	交付金の制度周知や地元説明会等を行い、未取組地域において新たな活動組織を複数獲得することができたものの、既存の取組組織の高齢化、後継者不足により管理可能な農地が減少したこと、目標値を下回る結果となった。		
	2 農村環境を次世代へつなぐ			担い手への農地利用集積面積（集積率）	農林基盤課	% %	5,580	5,620	5,650				A	区画整理工事が完了した農地を、事業計画に位置づけられた担い手へ集積した。今後も、事業の着実な推進と、担い手への農地集積を進める。		
				国営事業進捗率（予算ベース）（累計）			5,555	5,615	5,669	5,580			A	円滑な事業推進を図るために事業調整を行い、国により、排水機場建設工事や区画整理工事等が着実に進められた。また、予算確保の要望活動等により、毎年度、予算が増額され、着実な事業実施につながった。		
				★認定新規就農者の認定数（累計）			81.0	82.0	83.0				B	県内外問わず、新規就農希望者に向けた情報発信を継続的に行なったことや、県や農業者等関係機関と連携した取組により、概ね目標通りの新規就農者を確保することができた。		
	3 「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ			新規林業就業者の雇用者数（累計）	森林政策課	人	16.0	27.0	30.0				C	新規林業就業者の確保、就労環境の改善が喫緊の課題と考え、令和6年度中に補助制度見直しを実施した。従来の支援のほか、新たな林業担い手の確保・育成施策を創設した。		
				自営漁業者及び漁業経営体新規就業者数（累計）			12	19.0	26.5	34.0			A	県や漁協など関係機関と連携した取組により、目標以上の新規漁業者の確保ができた。新規就業者が将来にわたって継続して就業できるよう、個々の状況に応じた支援を図る。		
				農福連携で相乗効果を	農業振興課	事業所/年	7	14	21				B	令和6年度から実施している新出雲農業チャレンジ事業等の新メニュー「労働力確保推進事業」において、就労支援事業所の農福連携を支援している。また、島根県障がい者就労事業振興センターや、出雲地域農福連携推進協議会の取組が、実施事業所の維持・拡大につながっている。		
				循環型林業で新たな道を“伐り”拓く			—	10	14	20			A	林業事業体へ航空レーザーデータを提供し、林業経営の集約化・省力化を支援したことなどが森林経営計画策定期面積の増加につながった。		
	5 豊かな海の恵みのタスキをつなぐ			民有林に対する森林經營計画の策定期割合	森林政策課	% %	4	6	9				B	概ね出雲市管理漁港長寿命化計画に沿った、長寿命化対策工事を実施した。今後も着実に計画を進めるため、工法の精査や有利な財源の確保に努める。		
				漁港長寿命化事業実施施設数（累計）			2	4	6	6			C	認定事業者にとってメリットのある制度にする必要がある。併せて、認定しうる商品の掘り起しが必要。そのため、令和6年度にかけて認定事業者ヒアリングを行い、今後要望のあった展示会出展支援などを検討する。		
02 ”出雲”の「ブランド力」で価値を高める	7 出雲の“誇り”を全国・世界へ発信			★出雲ブランド商品認定商品数（累計）	商工振興課	商品	22	24	25				C	認定事業者にとってメリットのある制度にする必要がある。併せて、認定しうる商品の掘り起しが必要。ミライビジネスいすもでは食品事業者のワーキンググループが立ち上がっており、これらの事業者からヒアリングを行い、今後要望のあった取組などを検討する。		
				★おいしい出雲認定商品数（累計）			21	24	24	26			C	認定事業者にとってメリットのある制度にする必要がある。併せて、認定しうる商品の掘り起しが必要。ミライビジネスいすもでは食品事業者のワーキンググループが立ち上がっており、これらの事業者からヒアリングを行い、今後要望のあった取組などを検討する。		
	8 「おいしい出雲」でご縁をつなぐ			島根ぶどうの生産量	農業振興課	t/年	133	142	150				B	県事業を活用し、新規圃地造成に向けた取組を推進した。また、出雲農業未来の懸け橋事業、新出雲農業チャレンジ事業等の補助事業により、産地の維持・振興を支援した。一方で、担い手の高齢化、後継者不足などの理由で生産量は減少している。		
				シジミ漁獲量（宍道湖全体・神西湖・神戸川の合計）			1,020	1,025	1,028				A	竹林礁の設置や湖底清掃など、漁協が行うヤマトシジミの資源保護に必要な活動に対し、継続的に支援を行い、良好な生息環境の確保に努めた。		
							1,017	998	997	829						
	9 海・山・大地の恵みに新たな発想を				水産振興課	t/年	4,112	4,140	4,150				B			
							4,100	4,306	4,623	4,681			A			

「ともに創る」実績

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定時		上段：目標値、下段：実績値		
									R3年度	R4年度末	R5年度末
							%		56.4	57.4	58.3
03 地場企業が地域を支える	10	ネットワークで中小・小規模企業の未来を創る		出雲市中小企業景況調査第4四半期の業種別景況における売上高、「好転」と回答した事業者と、「不变」と回答した事業者の割合の合計値	商工振興課	件	% / 件	55.7	76.4	61.9	65.7
	11	創業支援で夢をかなえる		★ 創業件数（累計）				131	165	200	
	12	ご縁の力で国内外へビジネスチャンスを拡大		圏域市長会ビジネスマッチング（BM）及びNPO法人ミライビジネスいざも（旧21世紀出雲産業支援センター）実施の商談会における成約件数（累計）				108	230	288	
	13	産学官金連携で新商品・新サービスを開発		マッチング支援（事業化）件数（累計）				41	82	123	134
	14	“きらり”と光る事業者やノウハウを次世代につなぐ		事業承継計画策定件数（企業数）（累計）				7	11	15	
04 業立多種多様な企	15	「出雲で働きたい」をかなえる		企業進出及び事業拡張に伴う雇用創出数（累計）	産業政策課	人	人 / 件	3	4	4	4
	16	「魅力度No.1」の企業立地環境を		★ 製造業・ソフト産業の立地計画認定件数（累計）				25	50	75	
	17	「企業とのご縁」を結ぶ		学生・UIターン就職支援窓口相談者のうち市内就職者数				27	23	15	58
05 「人財力（じんざいりょく）」で地域産業を「前へ」	18	「帰ってきたい」を全力サポート		企業との交流会参加学生数	産業政策課	人 / 年	人 / 件	100	200	300	
	19	「働き続けたい」を100%に		いざも学生登録登録者数（累計）				101	108	374	416
	20	IT人材が育ち、集まるまちへ		★ 職場定着向上セミナー受講者数				7	14	21	
	21	出雲で進学の夢をかなえる		ヘルス・マネジメント認定制度市内健康宣言事業所数				7	5	11	15
		IT企業従業者数（累計）		大学等高等教育機関（学科を含む）の誘致数（累計）	産業政策課	事業所 / 年	人 / 事業所	476	648	820	

令和6年度		前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
評価	達成率	
A	112.7%	経営相談、融資、人材の確保など、商工会議所や商工会、金融機関等関係機関が連携して事業者を支援し、目標を達成した。今後も販路拡大の支援や地域通貨等の取組による市内経済循環の促進を図る。
A	144.0%	継続して創業塾等を実施するとともに、関係支援機関等と連携した支援を行うことで、目標を上回ることができた。
D	50.6%	新型コロナや物価高騰等により企業活動が完全に回復していない状況があり、事業者の参加やバイヤー活動が低調であった。令和7年度以降、商談会への出展の調整などをNPO法人ミライビジネスいざもと役割分担し、支援を継続する。
D	26.7%	コロナ禍によりマッチング会などが行えなかったことにより、医工連携自体のアピールができるになかったため、令和6年度はマッチング会は行わず、医工連携の取組を周知するためのセミナーを開催した。
C	77.3%	事業承継は時間がかかるため、施策の効果測定が困難である。また、補助金の申請等の目的がない場合は、計画策定を行わない事例も多い。計画的な事業承継を行っていただくため、実効的な支援を行っていく必要がある。
A	138.7%	令和5年度に市内大手製造業の事業拡張計画認定を行ったことで、雇用創出が伸び目標を達成した。しかし、昨今の経済情勢や人手不足から、今後の新增設計画については慎重になる声が多く聞かれた。
C	71.4%	コロナ禍以降、物価高騰、慢性的な人材不足などから新たな投資に慎重になっている企業が多くなっている。企業ニーズを的確に把握し、引き続きフォローアップを行っていく。
D	58.0%	令和6年度は令和5年度と比較してUIターンの相談者数は減少したものの、学生の相談者数は増えており、市内就職者数も倍増している。
A	108.8%	新型コロナの影響もあり、対面での交流を求めない学生が増えたため、県外（広島や岡山）において開催した企業との交流会への参加者が集まらず苦心した。令和6年度は市内開催の交流会を2回開催したところ参加者数が増えた。
C	73.3%	市内のすべての高校へ加入促進のため周知を行っているが、学校によって周知協力への差がある。令和6年度からは高校1年生まで加入年を拡大し、高校生の登録者数が増えたものの、大学生の登録が伸び悩んだ。周知方法や登録方法を工夫しながら、高校在学時に登録を促し、登録者数の増を図っていく。
A	106.0%	開催方法を工夫することで目標を達成できた。引き続き、参加者あるいは参加企業のさらなる定着に結びつこう、企業のニーズにあった内容、講師を検討していきたい。
A	122.9%	期間を通じて目標値を上回っており、事業所の注目度が高いことが分かる。働き方改革や、健康経営（従業員の生産性の向上、生活の質の向上、企業のイメージ向上）へ注目度が年々高くなっている。
A	114.1%	計画期間を通じて目標値を上回っており、これまでの積極的な誘致活動や、IT業界の好調な業績を背景に人材確保の動きが持続していると考えられる。
-	-	前期期間中には、誘致に向け県知事要望提出や、関係機関への訪問などに取り組んだ。大学誘致については、長期期間での取組が必要と考えるので、後期基本計画期間においても、継続的に取り組む必要がある。

「ともに守る」実績

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度		R4年度末	R5年度末	R6年度末			
							評価	達成率						
06 誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	22 災害から生命・財産を守る		★ 防災行政無線戸別受信機、有線放送及びいざも防災メールの加入・登録者（世帯）数（累計）	防災安全課	人・世帯			34,353	44,659	55,000			C	62.6%
								37,007	38,014	35,730	34,410			
	23 感染症から身を守る		優先して個別避難計画を作成すべき避難行動要支援者の計画作成率	防災安全課	% %			70.0	75.0	80.0			D	46.1%
								—	25.0	30.5	36.9			
	24 交通事故・犯罪にあわないまちに		感染症予防事業は市が主体となってできない事業又は外的要因の影響が大きい事業のためKPIを設定しない	健康増進課 農業振興課				—	—	—	—		—	—
			交通安全協力店の店舗数（累計）					50	75	80				
	25 安全な「かわ・みち」づくり		消費者問題の研修・講座・教育の参加者（累計）	総務課生活・消費相談センター	人			0	51	60	82		A	102.5%
			河川事業は市が主体となってできない事業又は外的要因の影響が大きい事業のためKPIを設定しない					1,950	2,050	2,150				
	26 「オール出雲」での空き家対策		地城の交通安全のため歩道整備は長寿命化改修工事等、終期なく維持修繕を行う事業のためKPIを設定しない	建設企画課 道路河川維持課				1,850	1,958	2,200	2,469		A	114.8%
			いざも空き家バンク登録者数					—	—	—	—			
27 神話の地～出雲の守り人	27 神話の地～出雲の守り人		心肺蘇生法を習得する救命講習普及率	消防総務課	% %			25	27	30			—	—
			市民による応急手当実施率					22.0	23.0	23.9	24.0			
	28 地域を守る消防団		消防団員の充足率	警防課	% %			56.0	56.0	58.0			A	104.3%
								56.0	53.0	54.0	58.9			
	28 地域を守る消防団							90.2	90.0	90.0			A	101.5%
								89.84	90.0	87.0	88.0			

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定時		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
							評価	達成率						
07 未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ	29	脱炭素のカギを握るのは再生可能エネルギー	再生可能エネルギー発電容量（累計） 二酸化炭素排出量 民有林に対する航空レーザ計測及び森林資源解析の実施面積（累計） ごみの排出量 ごみの最終処分量 河川水質の環境基準達成率（BOD） 宍道湖・神西湖の水質汚濁の程度を示す指標（化学的酸素要求量（COD）） 自動車騒音の環境基準達成率 海岸等一斎清掃参加者数 ホタルの生息が確認された地区の割合 自然体験事業の参加者数（年間） 環境学習施設の利用者数 出雲市で自然繁殖させるトキの数（累計）	環境政策課 ゼロカーボン推進室	kW		182,412	187,498	192,584		B	98.8%	目標は達成できなかつたが、気候変動や異常気象、光熱費の高騰等を背景に、市民や事業者の再生可能エネルギー導入や脱炭素の取組に关心が高まってきており、再エネ設備の導入は着実に伸びてきている。 今後も引き続き、再生可能エネルギー設備導入に向けた啓発や支援に取り組む。	
							177,326	184,880	188,033	190,334	B	91.2%	環境総合計画に基づき、家庭や事業所に対し、再エネ・省エネ設備の導入促進及びデコラの推進を目的としたセミナー開催等の啓発活動を通じ、環境意識の醸成を図ってきた。 引き続き再エネ・省エネ設備導入の取組や、住民・企業の環境意識を高める取組を展開するとともに、各種啓発活動を実施していく必要がある。	
	30	みんなで取り組むCO ₂ 削減		環境政策課 ゼロカーボン推進室	千t-CO ₂		—	1,443	1,361		A	100.0%	当初計画どおり航空レーザ計測及び解析を実施することができた。今後は、収集した樹高や樹齢などの情報を林業事業者へ提供することで、経営計画の策定を支援する。	
							1,607	—	1,357	1,481	A	100.4%	前期計画期間は、毎年度目標値を達成することができた。要因としては、人口減少や経済活動の影響に加え、啓発の取組により市民のごみ減量化意識が浸透してきていると考えられる。	
	31	3Rで資源の循環を		環境施設課	t/年		20.0	60.0	60.0		B	98.3%	令和6年度以外、目標値を達成することことができなかつた。要因の一つとして考えられるのが、火災ごみの量である。火災に伴うごみはほとんどが埋め立てられるため、火災ごみが多い年は埋立量が多くなる傾向がある。達成できなかつた年度はいずれも火災ごみが多く、火災ごみを除くと目標は達成できている。	
							0	38.0	60.0	60.0	B	90.0%	R6年度の水質検査（BOD75%値の速報値）は、4河川（測定地点計10か所）中、他の地点においては全て達成できているが、平田船川の測定地点（2か所中1か所・平田船川の上流：西谷水門）においてBODが環境基準値を超えた。上流で河床の掘削工事が行われていたため、その影響も考えられる。（令和4～6年度で累計30回測定をし、内4回で基準値を超過。）工事完了後は基準値内に数値が回復しているため、水質悪化の傾向はないと考えている。	
	32	安全安心・快適な生活環境を次の世代へ		環境政策課	% mg/l		57,908	57,769	57,316		C	76.1% 69.6%	令和4年度は目標値を達成しているが、令和5年度は達成しなかつた。未達成の要因として、流入河川流域の生活排水の他、気温や降水量などの気象条件の影響も考えられる。 宍道湖に係る湖沼水質保全計画（第8期）及び神西湖水環境保全指針に基づき、引き続き水質改善の取組（公共下水道への接続促進、排水基準の遵守、環境教育推進等）が必要である。 ※R6年度水質検査結果の公表時期は令和8年度中になる見込み	
							58,209	57,847	57,351	57,089	A	100.0%	令和4～6年度において、毎年3路線3箇所を測定（毎年測定箇所は異なる）し、自動車騒音の数値目標である対象区間の住宅における騒音の環境基準を達成した。	
							9,181	9,145	9,061		C	67.7%	令和4～6年度において、ボランティア参加者数達成できなかつた大きな要因として、荒天により一斎清掃が実施されなかつたことが挙げられる。今後とも啓発や広報に取り組み、市民や事業所の環境保全に向けた意識向上を図りたい。 （中止になつた主な清掃活動） ・長浜海岸一斎清掃（R4、R6） ・西浜海岸一斎清掃（R6）・斐伊川一斎清掃（R4～R6）	
							9,243	9,221	8,817	9,218	B	96.3%	いずれの年度も目標値を下回つたが、数値については上昇傾向である。目標達成のためには市民の自然環境保護に対する理解・協力が不可欠なため、今後も市民の環境意識の醸成に努めていく。	
							100.0	100.0	100.0	90.0	B	82.6%	令和5、6年度は目標値を下回つたが、参加者数は着実に伸びていている。今後達成に向けてはより魅力ある企画や積極的な広報に取り組みたい。	
	33	豊かな自然環境を次の世代へ		環境政策課	人/年		10,136	11,800	12,000		A	103.8%	新型コロナの影響が次第に緩和し、利用者数が順調に伸びてきている。今後も市民により魅力ある環境学習施設となるよう検討し、施設のPRに努める。	
							9,204	5,426	10,126	8,120	B	94.7%	自然ふ化の羽数は計10羽であり、そのすべてが無事に巣立ちていれば目標値を達成することができた。 未達成の要因であるヒナの死亡については、相手が動物であるため人為的なコントロールが難しい面もあるが、可能な限り再発防止に努めていきたい。	
	34	トキが飛び交う「美しい出雲」を		農業振興課	羽		73.0	77.0	80.0					
							70.0	63.0	63.0	77.0				
							8,000	11,000	14,000					
							6,661	8,202	10,618	11,557				
							50,000	51,700	53,000					
							46,299	50,425	53,847	55,025				
							31	34	38					
							28	32	33	36				

「ともに結ぶ」実績

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	35	世界から「IZUMO」へ	★ 外国人宿泊数【暦年】	インバウンド推進課	人/年		1,200	6,000	12,000				B	96.2%
	36	デジタルプロモーションで出雲旅へいざなう	★ 観光入込客数【暦年】				1,244	1,581	7,348	11,547			B	97.7%
	37	「来て、観て、泊まって」出雲で満足	★ 宿泊者数【暦年】	観光課	万人/年		1,000	1,100	1,200				A	106.3%
	38	広域観光で楽しむ	観光入込客数【暦年】【再掲】				853.1	1,050	1,209	1,172				
	39	日本遺産で魅力を発信	「日が沈む聖地出雲」ホームページの閲覧回数	文化財課	万回/年		70	75	80					
	40	「おもてなし」の環境を整える	宿泊者数【暦年】【再掲】				58.5	72	84	85				
「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	41	ぴったりな支援で移住・定住の希望を叶える（住む人も地域もWin-winな移住・定住を）	市への相談や助成金等の利用により定住に結び付いた助成事業利用によるUITAーン者数	縁結び定住課	件/年		22	23	24				No. 36と同様	
			★ 女性のUITAーン助成事業利用によるUITAーン者数				21	34	19	26				
			★ 移住促進住まいづくり助成認定件数	縁結び定住課	件/年		80	80	80				No. 37と同様	
			★ 新婚・子育て世帯UITAーン支援助成件数				78	85	111	107				
			★ 過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	縁結び定住課	件/年		20	20	20					
			★ 外国人住民5年定住率				21	13	21	15				
	42		縁結び定住課	件/年			10	10	10					
			縁結び定住課				7	29	43	73				
			縁結び定住課	件/年			35	35	35					
			縁結び定住課				—	4	4	18				
			縁結び定住課	件/年			30	30	30					
			政策企画課文化国際室				—	66	42	31				
			政策企画課文化国際室	%			40.0	41.0	42.0					
			政策企画課文化国際室				39.9	37.9	35.2	39.8				

「ともに結ぶ」実績

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値			
									R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末
09 「住みたい」 結び 「住み続けたい」 の縁	43	人と人との縁を結び「結婚したい」を後押し		婚活・支援者セミナー実施回数（累計）	縁結び定住課	回	3	6	9			
				婚活・支援者セミナー参加人数（累計）			2	4	7	12		
				★ ライフデザイン講座開催数（累計）			80	160	240			
44	対話を通じたまちづくり			広聴事業の実施回数（年間）（累計） ①市長とまちづくりミーティング②市長とふれあいミーティング③市長の訪問ミーティング の合計	広報課	回	69	111	193	280		
							3	6	9			
10 ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	45	国内外を結ぶ出雲縁結び空港		★ 出雲縁結び空港就航便の年間利用者数	交通政策課	万人/年	20	40	60			
		14	15	34			53					
	46	線路がつなぐ旅と暮らし		市内の鉄道駅（JR）における1日平均利用者数の合計値	交通政策課	人/年	100	100	103			
		43	82.3	99.9			104.8					
	47	賑わう出雲河下港に		出雲河下港 取扱出入貨物量（暦年）	産業政策課	t/年	2,900	3,350	3,800			
				出雲河下港 利用船舶数（暦年）			2,803	3,242	3,411	3,494		
48	魅力ある「みち」づくりをpusshする			「出雲・湖陵道路」、「湖陵・多伎道路」の進捗率（累計）	建設企画課	%	185,000	190,000	200,000			
							178,591	236,875	209,523	208,846		
							177	179	180			
49	8の字ルートの「みち」づくり			境港出雲道路の整備事業については、国・県事業等市が主体となってできない事業又は外的要因の影響が大きい事業であるためKPIを設定しない	建設企画課	—	85.0	90.0	100.0			
							80.0	85.0	85.0	100.0		
							—	—	—	—		

令和6年度		前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
評価	達成率	
A	133.3%	婚活イベント開催に合わせて、婚活に役立つセンスアップセミナーなどを開催するなど、集客の工夫することで、目標を上回ることができた。 また、イベントとセミナーを同時開催することで、同じ講師から結婚に対するアドバイスを受けることができ、参加者の意識や意欲も非常に高まったと思う。
A	116.7%	
B	88.9%	婚活イベントにライフデザイン講座を組み入れることで、参加者の本気度が増し、より自分事として取り組むことができるところがわかった。また、令和6年度は、出雲医療看護専門学校において、ライフデザイン講座を開催し、生徒に加えOB・OGにも受講してもらうことができた。学生は結婚等について将来のことなどいう認識があるため、若いうちからの受講が効果的であるので、医療看護専門学校に加え、新たな学校での開講も模索したい。
B	88.3%	令和4年度は、新型コロナの影響で、事業が延期となり、目標を達成することができなかった。令和5年度及び6年度は、目標数値には達成しなかったが、概ね目標数値に近い実績となった。
A	101.7%	コロナ禍が明け、2.1世紀出雲空港整備利用促進協議会による搭乗支援や路線PR事業を行った結果、令和6年度の利用者数は過去最多の約104万8千人となり、目標を達成することができた。
B	91.9%	令和4年度、令和5年度は目標を達成しており、利用者数は増加傾向ではあるが、目標としたコロナ禍前の利用者数には達していなさい。引き続き島根県鉄道整備連絡調整協議会やJR西日本と連携し、利用促進を進めていく。
A	104.4%	出雲河下港振興ビジョン実現のため、関係機関へのヒアリング、情報収集をはじめ、関係機関への要望活動、ポートセールスの実施などを行っていく。
C	68.3%	出雲河下港振興ビジョン実現のため、関係機関へのヒアリング、情報収集をはじめ、関係機関への要望活動、ポートセールスの実施などを行っていく。
A	100.0%	計画通り令和6年度中（令和7年3月2日）に開通した。
—	—	8の字ルート整備推進会議など関係団体と連携し、高規格道路「境港出雲道路」の実現に向けて要望活動を継続していく。

「ともに結ぶ」実績

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括				
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末								
							評価	達成率										
1 1 あのまち・このまち 出雲を結ぶ	50	広域連携でスケールメリットを最大限に発揮	★ 中海・宍道湖・大山圏域市長会圏域内への移住者数	政策企画課	人/年				3,000	3,000	3,000		B	コロナ禍後わずかではあるが、KPIの実績値は伸びており、徐々に回復している。圏域のスケールメリットを生かした移住定住に係る施策が一定の効果を発揮していると考えている。				
	51	ジオパークが大地と人のつながりを伝える							3,084	2,904	2,930	2,932						
									30	65	105		A	バス借上げ料の補助や、学習指導用ワークブック及び野外学習ワークシートの作成・提供など、ジオパークについて学習する機会の創出に継続的に取り組んだことの成果として、多くの学校においてジオサイトでの課外授業などが実施されている。				
									36	38	85	128						
									3	8	15		A	地域住民向けのジオパーク講座やジオツアー等、イベントの実施回数は年々増やしており、認定ジオガイドの人数も合わせて増加していることから、積極的な普及啓発活動の成果により、着実にジオパーク活動の輪が広がっていると考える。				
									8	16	14	19						
									25,000	55,000	91,000		C	日御碕への観光入込客数は、コロナ禍以降回復傾向にあるものの、令和元年度水準には達しておらず、伸び悩んでいる。加えて、令和6年度は、大雨による県道大社日御碕線の崩落の影響により、観光入込客数は大幅に減少した。また、同施設は観光案内所としての機能が中心であるため、ジオパーク拠点施設としてのあり方を見直す必要がある。				
									16,389	18,230	39,957	60,813						
	52	国際交流で「IZUMO人」を育てる					国際交流員の講演・交流事業回数	政策企画課文化国際室	回/年	120	150	180	D	講演・交流回数は目標に達しなかったが、訪問した幼稚園や保育所、小中学校からは、国際交流員と園児・児童・生徒が楽しく交流でき、異文化を触れることができる有意義な機会だったと評価いただいた。国際交流員の活動を更に周知するとともに、コミュニティセンター、幼稚園、保育所、小・中学校の代表者が集まる会議等で国際交流員を紹介し、講演・交流が増えるように取り組んでいきたい。				
	53	国内交流で出雲ファンを増やす					三市交流、友好都市等 年間交流回数（累計）	政策企画課		120	113	126						
1 2 いにしえの「財（たから）」を守り、活かす	54	出雲のルーツを探り、学び伝える	文化財調査報告書・研究紀要作成数（累計）	文化財課	冊				7	14	20		A	継続的に交流事業を実施することにより、目標を達成するとともに、関係自治体間の連携強化、文化交流、人材育成などにつなげることができた。				
	55	出雲の財（たから）を未来へつなぐ					史跡の保存活用計画策定数（累計）	文化財課	計画	0	1	2						
	56	いにしえの出雲を魅せる					出雲弥生の森博物館来館者数	文化財課		5	8	12	A	出雲弥生の森博物館研究紀要、文化財調査報告については、毎年発刊した。その他、緊急発掘調査の報告書を調査計画に基づき逐次刊行した。				
							荒神谷博物館来館者数	文化財課		0	0	1						
							出雲弥生の森博物館職員による「ふるさと歴史学習」に参加した児童生徒数（累計）	文化財課	人/年	27,500	29,250	30,000	D	前期期間中に策定した計画は「史跡出雲国山陰道跡」の1件のみであった。計画策定には委員会での審議や文化庁との協議に3年が必要であり、計画的な策定のためには継続的な調整を行う必要がある。				
										26,891	27,623	30,942						
									14,000	16,500	18,000	A	新型コロナの影響により入館者数が減っていたが、令和3年度から徐々に増え、現在、コロナ禍前の水準に戻っている。令和6年4月20日に来館者数50万人を達成した。また、企画展等をメディアを通じてPRできたことで、来館者が増加したと考える。					
									12,251	13,131	10,279							
	57	過去と未来を結ぶ人を育てる							1,200	2,400	3,600	B	幅広いテーマでの展示や定期的な講座を実施することにより、歴史に興味のない人にも博物館に訪れてもらうように努めた。施設の認知度をあげ、来館者数を増やすことが課題である。					
									1,254	1,340	2,270							
									2,971			B	令和4年度は1340人となっていたが、学校からの依頼が減り、参加する児童生徒数は減少している。学校への事業周知について、これまで年度末に事業説明を行っていたが、学校の翌年度事業計画に取り入れてもらえるよう早い時期（10月～12月）に説明を行うなど周知に努める。					

「ともに支える」実績

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定時		上段：目標値、下段：実績値			令和6年度		前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末	評価	達成率		
「産みたい」「育てたい」を応援	13 58	子育てしやすい環境をつくる	★ 保育所の待機児童数（国基準）	保育幼稚園課	人/年		1	0	0	0	A	100.0%	施設整備による定員増に加え、定員の弾力化を活用しながら、受け入れ増を図った結果、目標を達成することができた。	
							1	0	0	0	D	-	運営を委託する地域の運営委員会と調整をしながら、可能な限りの受入増を図ったが、児童クラブの入会希望者が年々増加しており、入会未決定が生じた。今後は、入会希望者数の増加に対応するため、人材確保対策や法人参入の推進等、受入枠拡大に向けた対策を進めていく。	
							54	13	0	0	B	99.8%	健診受診率は99%を超える数値で推移しており、児の発達発育、疾病の早期発見、保護者の育児不安の把握や支援、その他の生活習慣などの啓発が実施できている。	
							29	54	60	64	B	99.5%		
							98.0	100.0	100	100	B	99.8%		
							97.5	99.6	99.5	99.8	A	114.4%	令和4年度に制度の拡充を行い、保険適用の不妊治療に要する費用に対して助成している（不妊治療の保険適用範囲が拡大されたことに伴う拡充）。保険適用になったことで、治療へのハードルが下がったことや、治療に対して関心を持つ夫婦が増えたこと、また、医療機関への周知を実施したことで年々申請件数は増えている。今後も周知等を行い、不妊治療を受けやすい環境整備を進めていく。	
							98.0	100.0	100	100	B	80.0%	対象者が限られるため、申請者数の目標値（50件/5年間）に達しなかった。ただし、本事業の対象者数、申請者数の増加が制度の評価につながるものではないため、制度の維持、継続を目的とした設定としている。	
							97.1	99.8	99.7	99.5	B	94.4%	妊娠教室への参加ニーズが高まり続けていること、医療機関で十分に体験ができるないことから、あかちゃんのお世話教室に求めるものも高くなっている。参加者の希望する内容はそれぞれであり、令和6年度は満足度が目標値を達成できなかった。今後も事後アンケート等でニーズを把握し、できるかぎり教室の内容に反映していく。	
							98.0	100.0	100	100	B	91.2%	満足度は、90%程度で推移しており、講座に参加することで、育児不安の軽減やストレスの軽減に寄与していると考えられるが、参加者のニーズには個人差があると思われ、それらすべてに沿った講座とは難しい。今後も、満足度アンケートでの感想や意見をもとに検討を行ない、講座内容に反映できるようにしていく。	
							97.0	98.0	100.0	100.0	A	100.0%	新型コロナが5類に移行後、読み聞かせボランティアによるブックスタートを再開し、乳児期からの絵本のふれあいの大切さを親子へ伝えることができている。	
59	子ども・若者を地域で育て、見守る	子ども・若者支援センター協力事業所登録数	市民活動支援課	事業所			100.0	100.0	100.0	100.0	B	95.0%	講座に参加することで、育児不安の軽減やストレスの軽減に寄与していると考えられるが、参加者のニーズには個人差があると思われ、それらすべてに沿った講座することは難しい。令和7年度は事業の見直しを行う。	
							96.0	95.0	96.0	100.0	A	100.0%	子ども・若者支援センターを訪れる相談者の可能性や選択肢を広げるためには、多様な社会体験・就労体験の場の提供が必要である。センター職員が培った人脈を生かすことにより、目標を達成することができた。	

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度		R4年度末	R5年度末	R6年度末			
							評価	達成率						
ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	60	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	ワーク・ライフバランスの認知度	市民活動支援課	% 66.1 (R2)	-	-		-		-		—	企業向け出前講座を多くの事業所で行えよう、広く周知しているほか、イクボスの概念を周知し、イクボス宣言登録企業の拡大に向けて取り組んだ。今後も引き続き啓発が必要である。 ※KPI根拠は「第5次出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画」。計画では、R6年度目標は設定していない。R8目標 70%
							31.3 (R2)		-		-			
			女性が仕事を続けやすいと感じている人の割合	市民活動支援課	% 39.7 (R2)	-	-		-		-		—	企業等へのイクボスの普及啓発や、先進的な取組を行う企業等の紹介（広報）、職場（企業）向けの男女共同参画出前講座等により、職場に向けた意識啓発等を行った。 また、広く市民を対象とした男性の家事育児参画のための講座等を行うことで、女性活躍推進や固定的性別役割分担意識の解消に努めた。今後も引き続き啓発が必要である。 ※KPI根拠は「第5次出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画」。計画では、R6年度目標は設定していない。R8目標 40%
							39.8 (R2)		-		-			
			家庭において男女が平等であると感じている人の割合	市民活動支援課	% 38.7 (R2)	-	-		-		-		—	職場（企業）や地域、学校向けの男女共同参画出前講座、広く市民や教職員、地区コミュニティセンター職員を対象とした男女共同参画研修等を行うことで、女性活躍推進や固定的性別役割分担意識の解消に努めた。今後も引き続き啓発を行う。 ※KPI根拠は「第5次出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画」。計画では、R6年度目標は設定していない。R8目標 50%
							38.7 (R2)		-		-			
			職場において男女が平等であると感じている人の割合	市民活動支援課	% 990	人	990		1,005		1,020		A 100.5%	前期計画期間において、市によるシルバー人材センターの周知活動支援やシルバー人材センターの派遣先を増やす取組などによって、会員数が増加し、令和5年度、6年度は目標値を上回る結果となった。
							974		971		1,007			
いつまでも元気、ずっと現役で	61	生涯現役の社会をつくる	シルバー人材センター会員数	高齢者福祉課	人 56.0	人	56.0		60.0		60.0		C 74.0%	計画期間を通じて目標には届かなかったが、受診率は増加傾向である。個別通知に加え、広報等での周知を行った他、医療機関連携の強化、未受診者勧奨や受診しやすい体制整備を行った。
							44.3		44.1		43.8			
			★ 特定健診受診率	健康増進課	% 10.0	%	10.0		10.0		10.0		D 59.0%	胃内視鏡検診については、対象年齢が限定されているなかで令和6年度の対象を52歳・57歳・受診機会の減少する退職後の62歳・67歳の4年齢に設定した。62歳・67歳の受診者数により、全体として受診率増加に繋がった。令和7年度は対象年齢を50～69歳までと大幅に拡大し、市民への周知・啓発等の取組により受診率増を図る。
							2.9		5.4		4.7			
			★ ①胃がん検診（40～69歳）受診率	健康増進課	% 50.0	%	50.0		50.0		50.0		D 54.4%	令和5年度から冬季の個別検診（郵送法）と併せ、セットがん検診における集団検診（回収法）を開始した。他の検診（健診）と同時に受診できることから、40歳代の若年層受診者が増加している。年齢別では60歳代の受診者が減少傾向にあるため、検診の周知方法を工夫する等、受診率向上に向けた取組を進めていく。
							24.5		36.8		35.4			
			★ ②大腸がん検診（40～69歳）受診率	健康増進課	% 60.0	%	60.0		60.0		60.0		B 87.5%	令和5年度から個別勧奨通知の発送を開始しており、令和6年度からは再勧奨通知の差しも開始した。周知啓発の機会を増やすことで受診率の増加が見られているため、更に拡大を図るとともに効果的な勧奨方法についても検討を行っていきたい。職域分野とも連携を図り、企業への検診車配車など取り組みを進めしていく。
							39.4		51.6		52.3			
			★ ③乳がん検診（40～69歳）受診率	健康増進課	% 70.0	%	70.0		70.0		70.0		C 73.7%	クーポン利用率が低くがん検診受診のきっかけづくりにならないこと、個別検診のため他のがん検診と一緒に受けられないこと、同居の場合世帯主にしか情報が届いていないこと、若年層は病院に行き慣れていないことからハードルが高いと思われる。集団検診の実施や個別勧奨通知、SNSを使った周知など受診率向上に向けた取組を進めていく。
							42.3		48.4		43.5			
			★ ④子宮がん検診（20～69歳）受診率	健康増進課	% 10.0	%	10.0		10.0		10.0		C 62.0%	休日セットがん検診を開始した令和4年度から徐々に受診率は上がっているが、個別の受診勧奨ができていないため町内会未加入者や無関心層に検診の情報が届いていない。令和7年度は職場の検診機会が減少するとと思われる60代国保加入者に個別受診勧奨を実施する予定である。
							4.3		5.3		5.4			
			★ ⑤結核・肺がん検診（40～69歳）受診率	健康増進課	% 6.2	%	6.2							

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度		R4年度末	R5年度末	R6年度末			
							評価	達成率						
15 いつまでも元気、ずっと現役で	63	「食」から豊かな人生を		★ 朝食を食べる子どもの割合 3歳児	健康増進課	% %	/	98.0	99.0	100.0			B	97.0%
							96.6	97.4	97.7	97.0				
				★ 朝食を食べる子どもの割合 小学6年生	健康増進課	% %	/	92.0	95.0	100.0			B	88.9%
							88.9	89.3	86.5	88.9				
16 誰もが大切にされる社会をめざして	64	多様な価値観を認め、人権意識を高める		★ 朝食を食べる子どもの割合 中学3年生	健康増進課	% %	/	92.0	95.0	100.0			B	88.3%
							89.4	87.8	85.8	88.3				
				★ 食のボランティアの活動回数	健康増進課	回/年	/	284	312	330			A	110.9%
							261	295	370	366				
16 誰もが大切にされる社会をめざして	64	多様な価値観を認め、人権意識を高める		市民意識調査における「差別や人権侵害を受けたことがある」人の割合	人権同和政策課	% %	/	-	-	-			-	-
				固定的性別役割分担意識※に否定的な人の割合 ※個人の能力や適性とは関係なく、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分ける考え方のこと			16.9	-	-	-				
				DV防止研修会参加人数	市民活動支援課	人/年	/	-	-	-			-	-
				中学校・高校データDV防止出前講座実施回数			71.7	-	-	-				
65	65	多様性を認めあい、みんなでつくる～多文化共生～		市が主催又は共催で開催する多文化共生研修会、防災研修会、日本語教室等受講人数	政策企画課文化国際室	人/年	/	400	400	400			A	152.5%
							356	762	475	610				
				障がい者差別解消法における合理的配慮やあいサポート運動の普及啓発の講座受講人数（累計）	福祉推進課	人	/	12	12	12			A	116.7%
							13	13	13	14				
66	66	多様性を認める社会の実現～ソーシャルリンク～	★	日本人・外国人住民双方に、研修会・日本語教室等の開催を通じて、多文化共生の意識啓発と外国人住民の地域社会への参加促進を図ることができた。 引き続き、民間団体や地域と連携し、研修会等を通して、意識啓発に取り組む。また、日本語教室は、近年参加者が減少傾向にあることから、日本語教室ボランティア団体と意見交換しながら、参加者が増加する取組を検討していく。	政策企画課文化国際室	人/年	/	817	850	900			B	95.0%
							775	1,030	1,015	855				
				障がい者差別解消法における合理的配慮やあいサポート運動の普及啓発の講座受講人数（累計）	福祉推進課	人	/	1,680	3,360	5,000			A	115.4%
							2,099	2,273	3,969	5,771				

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
							評価	達成率						
17 ぬくもりのある福祉サービスを	67	誰もが自分らしく活躍できる社会を～地域共生社会～		地域福祉活動を現在している、または過去にしたことがある人の割合	福祉推進課	% %	/	-	-	36.4	A	100.8%	各地域でインフォーマルサービス（地域社会、NPOやボランティアなどが行う援助活動で、公的なサービス以外のもの）を提供する地域活動団体が増加した。地域課題の解決に向け、各団体がさまざまなサービスを提供しており、今後も必要な取組を行っていく。	
	68	障がい者の自立と社会参加を支える		就労支援サービス利用者数			/	35.8	-	-	A	112.3%	第7期出雲市障がい福祉計画（令和6～8年度）の方針に基づき、障がい者が必要とする障がい福祉サービス等を利用しながら希望する地域での生活を継続するため、経済的にも自立できるように、就労支援サービスの利用や一般就労への移行を推進し、就労継続支援の効果的な運用に取り組んでいく。	
	69	高齢者の暮らしを支える		「通いの場」等に月1回以上参加する高齢者の割合	医療介護連携課	% %	/	950	975	1,000	C	65.0%	住民主体で健康づくり・介護予防の取り組みを行う「通いの場」及び高齢者ふれあいサロンについては、運営者の高齢化等による扱い手不足や、気象状況及び感染症の影響から開催を中止する月があり、年12回以上開催できなかつたことが要因として考えられるが、団体数及び参加者数は年々増加している。 今後、これらの団体に対して、「年12回以上の開催となるよう働きかけを継続するとともに、「通いの場」については、新規立ち上げに加え、地域の健康づくり・介護予防に係る活動の「通いの場」登録や参加勧奨を推進し、団体数及び参加者数の増加を図っていくこととしている。	
				住民主体の地域の課題と解決策を検討する場（ワークショップ）や支え合いの組織づくりを検討する場（地域ささえあい会議）の開催につながった地区的割合			/	912	963	1,050	1,123	B	85.0%	地区社会福祉協議会を基礎単位とした住民主体の地域課題と解決策を検討する場づくりは、令和6年度までに可能な地域での構築が図られた。令和6年度からは、関係者の意見を踏まえ、新たな場づくりから地域で構築された支え合い組織の継続や、広域的な地域課題解決に向けた連携強化を図る施策を推進している。
18 地域特性を生かして安心な医療	70	質の高い効率的な医療の提供		退院支援（退院調整）を受けた患者数	医療介護連携課	回/年	/	-	-	8,000	A	140.1%	国の最新の公表数値は令和5年度であり、現時点では令和6年度の実績は公表されていないが、令和4年度、5年度ともに、令和6年度目標値を大きく上回っている。医療機関における、在宅や高齢者施設における生活への移行が円滑に進むよう、本人・家族はもとより、関係する多職種でのカンファレンスなど、必要な連携の取組が進んでいると考えられる。	
				総合医療センターにおける健診・人間ドック受検件数			/	7,655	12,571	11,210	-	B	99.1%	計画期間中、目標に届かない年度もあったが、目標に近い実績値を達成できた。受検者増の各種取組により、受検者数は増加傾向となつた。
				中山間地域等の条件不利地域を訪問する訪問看護ステーション数（累計）	医療介護連携課	事業所	/	12,300	12,650	13,000	A	116.7%	条件不利地域における訪問看護の事業所数は年々増加している。採算性の低い条件不利地域への訪問看護に対し確保対策事業補助金により支援することで、サービスの充実・提供体制の維持に一定の成果が出ていると考えられる。	
	71	中山間地域に新たな風を		地域おこし協力隊員数	自治振興課	人/年	/	11,960	12,575	12,619	12,880	B	85.7%	地域課題のヒアリングに合わせ制度の趣旨やメリットの周知を図ることで、隊員を過不足なく配置し地域課題解決を図っていく。また、企業連携型についても制度周知を図ることで、制度活用の裾野を広げていく。
	72	中山間地域のポテンシャルを生かす		立地認定計画件数（中山間地域）（累計）			/	17	17	18	A	100.0%	日御碕サテライトオフィスを中心とした地域、施設のPRや視察対応など効果的な誘致活動が展開でき、目標を達成することができた。今後さらに件数を伸ばすためには、企業の受け皿となる物件情報の収集等を行う必要がある。	
				観光入込客数【暦年】【再掲】	観光課			No. 36と同様				No. 36と同様		
19 地域とともに持続可能な中山間地域を		安心して住み続けられる中山間地域を		地区ビジョンの策定期数（累計）	自治振興課	地区	/	3	3	4	D	50.0%	ビジョン策定期の前提として、地区内での課題・危機感の共有と課題解決に向けた機運の高まりが必要となるが、未策定期の地域においてこうした段階に至らなかった。地区の状況を把握するため引き続きヒアリングを実施しながら、地域づくりの機運を高める。	
				中山間地域等直接支払の取組面積（累計）			/	2	2	2	A	100.6%	取組面積の目標を達成しており、農業生産活動等の維持を図るという本事業の目的に対し、一定の成果があった。	
	73						/	682	686	690				
							/	679	683	690				
							/	694						

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
							評価	達成率						
19 能な中山間地域とともに持続可能	73	安心して住み続けられる中山間地域を		中山間地域でのスマート農業の実証で、効果のあったスマート農業機器の導入経営体数（累計）	農業振興課	経営体	/	1	3	5	A	120.0%	出雲チャレンジ事業によるスマート農業機械の導入支援により、目標を達成した。今後も財政支援やPR活動等を通じて、取組経営体数を拡大していきたい。	
							/	1	3	6				
20 出雲のインフラを整え「安心」を支える	74	地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに		「幹線市道整備10か年計画」進捗率（事業費ベース）	道路建設課	% %	/	4,200	4,000	3,600	B	212.9%	イノシシによる被害額が減少している。出雲市有害鳥獣被害対策協議会で、令和3年度から6年度まで計画的に捕獲檻を購入し（217基）、全ての捕獲班（25班）に貸与した。この捕獲檻による捕獲について、一定の効果があったものと考えている。そのため、年にによって増減はあるが、近年は減少傾向にある。	
							/	4,500	3,300	3,716				
	75	住まいを整える		市営住宅は長寿命化改修工事等、終期なく維持修繕を行う事業のためKPIを設定しない	建築住宅課	-	/	50.0	60.0	70	B	84.1%	前期計画期間において、建設資材、人件費及び諸経費の高騰により必要な事業費の確保が難しかったものの、路線別事業計画の見直しなどを行い、概ね目標値が達成できた。引き続きコスト縮減に努め事業費の抑制に取り組むとともに国補助金の積極的な活用を図る。	
							/	31.1	40.5	50.4				
	76	上下水道で快適な生活を支える		水道施設管路の耐震化率	水道施設課	% %	/	61.0	81.0	100	B	96.2%	財源である国費が予算通り配分されないことに加え、建設資材、人件費及び諸経費の高騰により必要な事業費の確保が難しかった。引き続き新技術の活用などコスト縮減に努め、事業費の抑制に取り組むとともに国補助金の積極的な活用を図る。	
							/	42.0	62.0	80.3				
	77	利便性と癒しの都市空間を		汚水処理人口普及率	下水道管理課 下水道建設課	% %	/	14.5	15.4	16.2	B	95.7%	資材の高騰や労務費の上昇等による工事価格の増により、計画期間を通じて目標の耐震化率を下回った。	
							/	13.7	14.3	14.9				
				平田行政センター整備進捗率	管財契約課	% %	/	90.30	91.0	91.8	B	98.8%	下水道事業においては、公共下水道の管渠の整備を行ったが、国の補助金の内示減及び資材高騰による整備延長の減により、計画期間を通じて目標を下回った。	
							/	89.46	89.80	90.2				
				斐川行政センター整備進捗率	管財契約課	% %	/	11	65	100	B	96.0%	多目的棟の外構工事、舗装工事が令和6年度内に完了しなかったため、目標達成できなかったが、未完了の工事については、令和7年6月末まで完了した。	
							/	1	11	65				
				街路事業4路線（医大前新町線、高砂町渡橋線、下沢高西線、塩治一の谷線）の進捗率（事業費ベース）	都市計画課	% %	/	3	38	47	A	100.0%	予定どおり事業を進捗し、令和6年11月に新庁舎の供用を開始した。令和8年10月多目的棟の供用開始をめざし、事業を進めていく。	
							/	1	3	38				
							/	36.5	44.9	52				
				公園リフレッシュ事業整備率	都市計画課	% /年	/	27.1	34.5	44.1	B	96.0%	概ね目標どおりに進捗しているが、一部地権者が家屋移転に時間を要した用地買収や物件補償等について、補償金の一部を次年度に繰り越すことがあるため、目標を下回った。	
							/	-	-	10				
				地籍調査事業進捗率（累計）	地籍調査課	% %	/	52.76	53.94	54.65	C	67.0%	愛宕山公園トキPR近似種ふれあい施設（飼育舎）改修、一の谷公園遊具改修等を行った。今後も国交付金の採択について積極的に要望し、整備財源の確保に努めていく。	
							/	51.64	53.05	53.38				
							/	51.64	53.05	53.38				
							/	51.64	53.05	53.38				

まちづくりの施策	No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
							R3年度		R4年度末	R5年度末	R6年度末			
							回/人/年	1.81	1.93	2.05				
20 出雲のインフラを整え「安心」を支える	78	みんなのための地域内交通		公共交通の市民一人当たりの年間利用回数	交通政策課	回/人/年	1.69	1.80	2.55	2.27			A	110.7%
							140	145	148				B	93.2%
	79	グリーンステップC谷を生かす		斐伊川・神戸川治水事業等は市が主体となってできない事業又は外的要因の影響が大きい事業のためKPIを設定しない	建設企画課	—	109	126	134	138			—	—
	80	出雲らしい景観を守りぬく					10	20	30				A	103.3%
21 デジタルの力で未来をデザイン	81	市民サービスのデジタルファースト		しまね電子申請サービスにおけるオンライン申請利用件数	情報政策課	件/年	30,000	40,000	50,000				C	71.5%
	82	まちづくりのデジタルファースト					22,584	25,528	38,656	35,759			C	66.7%
	83	産業・観光のデジタルファースト		島根県オープンデータカタログサイトにおける保有データのオープンデータ登録済み件数（累計）	情報政策課	箇所	4	4	3				D	14.0%
	84	ともにデジタルファースト					4	4	4	4			A	117.8%
				高齢者向けスマートフォン教室参加者数（累計）	情報政策課	延べ人	16	25	50					
							7	7	7	7				
							390	780	1,290					
							231	508	1,051	1,520				

「ともに育む」実績

まちづくり No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度 評価	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
						R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
						77.3	90.0	100	100				
22 家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	85 質の高い教育で学力アップ		「主体的・対話的で深い学び」の過程を重視した学習を計画的に取り入れている学校の割合（全国学力・学習状況調査による）	学校教育課	% %	66.0	—	75.6	87.3	B	87.3%	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を目指して、本市で独自に開発した「めあてと振り返りを意識した授業スタンダード」（授業構想シート）及び「PDCAフロー図」を用いて、学力向上訪問や学力向上研修講座等の取組を行い、各校での活用も着実に広がっている。また、令和4年度から令和6年度の3か年においては、しまね学力育成プロジェクト事業を受託し、授業改善推進研究校の取組を中心に、市内各校への普及を図った。各校の研究成果について、研修講座等で取り上げながら、今後も普及に努めたい。	
	86 ICT機器の活用で新たな学びのスタイルを		教職員と児童生徒がやり取りする場面で、ICT機器（学習支援ソフト）を活用した取組を行っている学校の割合（全国学力・学習状況調査による）			28.4	80.0	100	100	D	42.1%	いまGIGAスクールプランのもと、学習支援ソフト等の活用、教員対象の操作・活用研修等の実施、またICT支援員を配置し、ICT活用教育の推進を図った。教職員個々のICT活用に係る意識差や経験差から差異が生じているため、今後も継続的に研修を実施していく必要がある。	
	87 学びを広げ深める学校図書へ		小学校の学校司書（学びのサポーター）の配置校の割合	学校教育課	% %	60.6	69.7	78.8	78.8	A	100.0%	計画どおりに小学校への学校司書（学びのサポーター）の配置が進んでおり、学校図書活用教育の推進が図られている。	
	88 ふるさとへの愛を育む		全国学力・学習状況調査「地域や社会をよくするために何をすべきか、考えることがある」の児童生徒の肯定的回答の割合			小53.5 中48.8	小55.0 中55.0	小60.0 中60.0	小60.0 中60.0	A	小139.7% 中132.8%	新型コロナの5類移行に伴い、児童生徒が地域の「ひと・もの」こと」に直接関わることができるようになり、地域や社会への関心が高まった。	
	89 家庭・地域と学校が手をつなぐ		「コミュニティスクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。」に対する学校の肯定的回答の割合（全国学調による）	教育政策課	% %	小86.6 中80.7	小88.8 中83.0	小90.0 中85.0	小90.0 中85.0	A	小107.8% 中84.0%	新型コロナの5類移行に伴い、家庭・地域・学校の協働による活動が再開し、多くの学校で行われるようになっている。	
			地域学校協働活動推進員の配置人数（年度末配置人数）			小84.9 中78.6	小81.8 中71.4	小97.0 中100.0	小97.0 中71.4	A	120.0%	推進員配置に向けて、候補者の情報提供など、地域や学校の協力を得られたことで、目標を上回った。	
			親学プログラムの参加者数			人/年	120	180	250	A	208.0%	新型コロナの5類移行に伴い、保護者等の研修会が復活したことやそのタイミングで広報活動を行ったことにより実施団体及び参加者数が増加した。	
	90 出雲ならではの学び体験を		児童生徒の科学館学習への関心度	出雲科学館	% %	90.5	90.5	91.0	91.0	B	98.0%	概ね目標を達成出来ている状況ではあるが、今後は目標を上回るよう、理科学習内容検討委員会を計画的に開催し、児童生徒の興味・関心を高めることができるものと想定される。	
	91 子どもの育ちをなめらかにつなぐ		独自に幼児・児童の交流を行っている保育所・幼稚園・小学校の割合			90.3	89.6	88.0	89.2	B	85.6%	保幼小で連携・接続を図る目的・意義について理解を深めていただけるよう、今後も合同研修会等の機会を通じて、市内保育所・幼稚園・学校へ働きかけていく。	
	92 一人ひとりの子どもの成長を支える	★ 不登校児童生徒の割合		児童生徒支援課	% %	2.78	2.38	1.98	1.98	D	39.4%	不登校の要因については、多岐にわたり、複合化しているため、特定が困難である。令和4年度から、不登校改善に向けて、様々な施策を行っているが、対応しきれていない現状がある。今後は不登校相談員の効果的な配置、スクールソーシャルワーカーによる定期面談、学びの多様化学校の設置についての検討など、個々の状況に応じた総合的な不登校対策を推進し、学校や地域との連携を深め、きめ細かな不登校支援により、児童生徒が安心して学べる環境づくりを進めていく。	
	93 日本語指導で広がる子どもの希望		日本語習得に係る児童生徒の指導目標達成者の割合			81.4	84.0	85.0	85.0	A	111.8%	指導員等の継続配置と指導員の研修の機会を確保することができた。児童生徒については、キャリア教育を充実させることができた。	
	94 安全・安心でおいしい学校給食を	★ 学校給食における地元産食材使用割合		学校給食課	% %	79.6	83.0	83.0	95.0	B	96.7%	地元産食材の入荷量不足により、計画期間を通して目標を下回った。「学校給食マッチング会議」の開催や「おいしい出雲の一日給食」の実施により、地元食材使用割合が増えるよう努める。	
	95 学びの場を整える		学校施設の耐震化率（累計）			73.5	74.0	75.0	75.0	A	100.0%	工事の進捗管理を適切に行うことで、予定どおり工事を完了し、耐震化率100%を達成することができた。	

まちづくり 基本的方向	No.	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定時		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度	前期計画（令和4年度～6年度）期間の総括
						R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
人が地域を、 地域が人を育てる	96	★ 市民協働の力が地域課題を解決	★ 市民協働事業支援補助金を活用する市民団体数	市民活動支援課	団体/年		6	6	6			A	200.0%
	97		生涯学習講座の年間実施回数（累計）			回	26	53	80			A	118.8%
	98	多様な学びを地域で生かす	地域学校協働活動推進員の配置人数（年度末配置人数） 【再掲】	教育政策課	No. 89と同様								
	99		社会教育士等の資格取得者数（累計）		自治振興課	人	26	24	22	30		B	86.7%
	100	NPO法人等の力を伸ばす	NPO法人を対象とした研修会や意見交換会への参加法人数	市民活動支援課	法人/年		29	33	35			C	74.3%
	101					26	26.0	29.0	26				
	102	ボランティア活動のススメ	ボランティア登録者数（年度末登録者総数）	市民活動支援課	人		24,831	24,920	25,000			B	96.9%
	103					24,747	24,459	24,604	24,232				
	104	自治会加入で暮らしに安心を	★ 自治会加入世帯数	自治振興課	世帯/年		38,925	38,500	39,000			B	94.6%
	105					38,888	38,396	37,571	36,908				
	106	”コミセン”が43のふるさとを支える	今後、新たに取り組む新築、耐震化、大規模改修の件数（累計）	自治振興課	件		1	5	5			A	100.0%
	107					0	1	4	5			A	109.2%
	108	高等教育機関との連携で地域課題を解決	★ 島根大学、島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数（累計）	総務課	件		123	126	130				
	109					119	118	118	142				

まちづくり No.	基本的方向	総合戦略重複	まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定時		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度 評価	前期計画（R4年度～R6年度）期間の総括 達成率
						R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
24 芸術文化で豊かな出雲を まちづくり	103 芸術文化でこころ豊かに	★ 出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	文化スポーツ課	人/年	7,915	11,360	11,360	6,192	10,677	7,064	8,908	C 78.4%	公演事業数の減や当初予定していた事業の中止により鑑賞機会や鑑賞者数が減少したため、目標を下回った。 事業の評価・検証等を常に行い、参加者（観覧者）が参加（鑑賞）しやすく、参加（観覧）したくなるような魅力あるイベントになるよう改善に努める。
						6,553	6,600	6,600	6,530	6,064	5,025	4,747	
					191,960	251,000	251,000	162,448	202,867	227,105	230,054	C 71.9%	高齢化等により、加入団体や会員数が減少したため、目標を下回った。 今後の出雲市文化協会（仮称）の創設により、市内の芸術文化団体の活動継続、後継者や次世代の育成に向けた全市的なネットワークの構築や団体間の交流促進を図ることで、加盟団体加入数者の増加を図る。
						30,892	59,000	59,000	16,838	23,534	81,474	62,040	
	104 芸術文化を支える人づくり	出雲芸術アカデミー受講者数	文化スポーツ課	人/年	300	400	400	268	312	307	320	B 91.7%	公益財団法人出雲市芸術文化振興財團に、利用者のニーズ把握や情報提供等に努めてもらい、利用促進を行った。この取組を継続し、さらなる利用促進図る。
						17	20	20	15	20	23	21	
	105 出雲が誇る文化資源を世界へ発信	出雲文化ナビ年間視聴回数	文化スポーツ課	回/年	20,787	36,000	36,000	13,181	29,288	30,121	45,628	A 105.2%	観覧者のニーズを把握し、展示事業の内容に反映したことで、目標値を上回る実績となつた。引き続きアンケート実施によるニーズの把握、SNSなどでの情報発信を行い、利用促進を図る。
25 スポーツで元気な出雲を まちづくり	106 自分を超えろ、神話をつくれ～島根かみあり国スポ・障スポ～	国民スポーツ大会出場者数	文化スポーツ課	人/年	—	—	—	106 (H28-R1平均)	107	108	95	B 80.0%	子供の習い事の種類が多様化していること等により、受講者数の確保が難しい状況である。受講者の更なる確保に向け、講座・演奏会の開催等、引き続き出雲芸術アカデミー事業の魅力向上に努める。
						—	—		—	—	—		
	107 「する」「みる」「支える」スポーツ～Enjoy Sports Enjoy Life～	成人の週1回以上のスポーツ実施率	文化スポーツ課	% 30.8	—	—	—	2,424 (H28-R1平均)	42.1	—	—	A 105.0%	各年度で目標値を達成することができ、出雲芸術アカデミー事業の魅力を発信することができた。引き続き子どもたちが芸術文化に触れる機会の充実と出雲芸術アカデミーの魅力発信を図る。
						—	—		1,300	1,115	1,387		
		市民参加型スポーツ大会（市内）参加者数	文化スポーツ課	人/年	—	—	—	1,459 (H28-R1平均)	934	793	880	— —	コロナ禍後、スポーツの実施状況等に関するアンケートは、まだ新型コロナの影響が残る令和5年度に実施しており、令和8年度の目標値（70%）を大きく下回ったものと思われる。目標値達成のために、スポーツ実施の習慣化のための意識付けが必要であり、積極的なPR活動が必要と考える。 ※KPI根拠は「第2期出雲市スポーツ推進計画」。計画では、R6年度目標を設定していない。R8目標 140人
						—	—		—	—	—		
	108 スポーツを支える人づくり	大型スポーツイベント（県外）参加者数	文化スポーツ課	人/年	—	—	—	736,462 (H28-R1平均)	627,211	691,565	867,732	— —	コロナ禍後、コロナ禍前の水準までは回復していない。また、コロナ禍後大会は継続開催されているが、規模の縮小等が行われた。今後、それぞれの大会の魅力発信を行い、参加者増加を図る。 ※KPI根拠は「第2期出雲市スポーツ推進計画」。計画では、R6年度目標を設定していない。R8目標 1,700人
						—	—		—	—	—		
		市営スポーツ施設利用者数	文化スポーツ課	人/年	—	—	—	2,225 (H28-R1平均)	2,200	2,200	2,300	— —	施設利用者数は増加傾向にあるものの、コロナ禍前の水準までは回復していない。また、コロナ禍でのスポーツ活動の減少も少なからず影響していると考えられる。令和8年度の目標達成に向けて、施設の維持補修や公共施設予約システムの活用など施設利用者の利便性向上に努め、施設の利用促進を図る。 ※KPI根拠は「第2期出雲市スポーツ推進計画」。計画では、R6年度目標を設定していない。R8目標 91万人
						—	—		—	—	—		

まちづくり 総合戦略重複	No.	基本的方向		まちづくりの指標 (重要業績評価指標・KPI)	担当課	単位	計画策定期		上段：目標値、下段：実績値				令和6年度 評価	前期計画（R4年度～R6年度）期間の総括 達成率
							R3年度	R4年度末	R5年度末	R6年度末				
								171,300	172,400	173,500				
26 誰もの「学びたい」を実現	109	地域で学び、楽しむ		出雲科学館年間来館者数	出雲科学館	人/年		170,207 (H30)	98,778	89,403	97,700		D	56.3%
				生涯学習講座の年間実施回数【再掲】			市民活動支援課	No. 97と同様						
	110	なんでも見つかる情報の宝庫		図書貸出総数	出雲中央図書館	点/年		1,240,000	1,240,000	1,240,000			B	87.6%
				個人貸出延べ人数			出雲中央図書館	236,000	236,000	236,000			B	88.5%
				7図書館来館者数			出雲中央図書館	540,000	540,000	540,000			B	96.8%
	111	子どもと本のかけ橋に		児童書の貸出冊数	出雲中央図書館	冊/年		547,000	547,000	547,000			B	91.3%
27 出雲の魅力発信します	112	出雲ファンを増やす		ランディングページから各課ウェブサイトへのクリック数	政策企画課	回/年		6,000	9,000	12,000			A	365.0%
				「日本的心のふるさと出雲」応援寄附件数（累計）			縁結び定住課	2,880	10,407	19,337	43,797		A	158.2%
	113	「いざもな暮らし」からはじめよう	★	「いざもな暮らし」及び「出雲人-IZUMOZINE-」ホームページコンテンツアクセス件数（ページビュー数／年）		万件/年		35.0	36.0	37.0			A	151.4%
				「出雲人-IZUMOZINE-」			産業政策課	18.0	16.0	19.8				
				「いざもな暮らし」			縁結び定住課	23.3	40.8	36.2			A	138.1%
	114	日本中を駆ける！ヤマタノオロチ（出雲ナンバー）	★	図柄入り出雲ナンバー交付枚数（年度末累計）	縁結び定住課	枚		6,000	7,000	8,000			A	135.0%
	115	みんなに伝わる出雲の情報		ホームページアクセス件数	広報課	千件/年		3,735	3,766	3,858			A	124.9%
				SNS登録者数（累計）			広報課	3,674	7,825	6,629	5,209			
							人	40,618	40,900	41,800				
								40,027	44,151	47,765	52,215			